

1 企画展

小杉小二郎展 巴里／窓辺に詩う

●会期 平成20年4月26日(土)～5月25日(日)

●主催 茨城県つくば美術館

●ポスター B2

●チラシ A4

●図録 296×217mm 99頁

編集：舟木力英

デザイン：水谷実和子

発行：茨城県つくば美術館

●入場者数 2,953人

●観覧料 一般380(320)円／高校・大学生280(220)円

小・中学生180(120)円

※( )内は20名以上の団体料金

●出品点数 125点

●内容解説

すべてのものがめまぐるしく変化していく今日の世界の中で、安定した独自の作風により、絶妙な色彩感と新鮮なフォルムで静謐な詩情を湛えた静物画や風景画を生み出してきた小杉小二郎。

小杉は、巴里で、藤田嗣治、岡鹿之助、長谷川潔などの知遇を得て、これらの画家にも見られるような巴里在住日本人画家の伝統も自ずと継承している、将来性豊かな画家の一人である。また、日本国内では、団体展を足場とせずに独自の活躍をしている芸術家で、その評価がますます高まっている。近年は、従来のプリミティブヴでポエジーのある世界に加え、大和絵的な意匠やモチーフから、壁

画・アイコンなどにおけるキリスト教的主題に至るまで、さらにはキュビズム風のコラージュからモビールに至るまで、いっそう幅広い造形語彙に着目し、これを主として小品の平面やオブジェの世界において展開させている。

本展では、このような小杉の作品を、小品のオブジェなども交え、油絵作品を中心に約130点で展示構成し、こころ休まる詩的世界と独自の色彩感覚にあふれた具象絵画を紹介した。

●担当 舟木力英(副参事兼分館長)

●関連事業

・ギャラリートーク

担当 舟木力英

日時 5月10日(土)、5月17日(土)

両日とも午後2時から

会場 展示室

●関連記事

・「巴里／窓辺に詩う」～県つくば美術館

4月5日【常陽新聞】

・「巴里の詩情たっぷり130点」

4月5日【日刊 常総新聞】

・「巴里／窓辺に詩う 小杉小二郎展」

4月23日【朝日新聞】

・「心を癒す静寂感 小杉小二郎展」(山崎理絵)

4月23日【毎日新聞】

・「小杉小二郎展 巴里－窓辺に詩う」

4月25日【日本経済新聞】

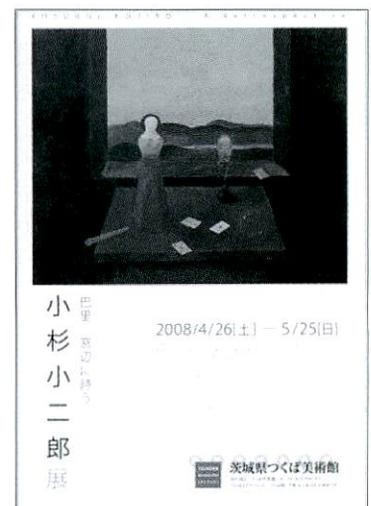
・「独自の色彩感覚と静謐な詩情 小杉小二郎展あす開幕」(蜂谷和子) 4月25日【常陽新聞】



図録



ポスター-B2



チラシ-A4

- ・「小杉小二郎展」 4月26日【茨城新聞】
- ・「茨城県つくば美術館で小杉小二郎展」 4月28日【協同組合通信】
- ・「巴里／窓辺に詩う 小杉小二郎展」 4月号【月刊みと】
- ・「小杉小二郎展 巴里／窓辺に詩う」 4月号【ひばり】
- ・「逸品一話 小杉小二郎「追憶」 音楽的な色彩 ひそやかに語る」(舟木力英) 5月1日【朝日新聞】
- ・「小杉小二郎展への招待1」(舟木力英) 5月2日【常陽新聞】
- ・「小杉小二郎展への招待2」(舟木力英) 5月3日【常陽新聞】
- ・「小杉小二郎展への招待3」(舟木力英) 5月4日【常陽新聞】
- ・「小杉小二郎展への招待4」(舟木力英) 5月5日【常陽新聞】
- ・「小杉小二郎展への招待5」(舟木力英) 5月6日【常陽新聞】
- ・「小杉小二郎展」 5月7日【両毛新聞】
- ・「25日まで「小杉小二郎展」」 5月9日【常陽ウィークリー】
- ・「深い色、静寂の世界 「小杉小二郎展」を開催」(赤嶺容子) 5月14日【常陽新聞】
- ・「広がる静ひつな世界 「小杉小二郎展」」(佐川友一) 5月21日【茨城新聞】
- ・「小杉小二郎展 巴里／窓辺に詩う」 5月22日【東京新聞】
- ・「小杉小二郎展」 5月号【美術の窓】
- ・「小杉小二郎展 巴里－窓辺に詩う」 5月号【ゆうゆう】
- ・「巴里／窓辺に詩う 小杉小二郎展」 5月号【スペースマガジン】
- ・「「小杉小二郎展－巴里／窓辺に詩う」を4月26日(土)～5月25日(日)開催」 5月号【沿線リビング】
- 関連放送
- ・「おもしろローカルスウィングレポート」 4月28日【IBS 茨城放送】
- ・「夕刊ほっと つくばスタイル」 5月6日【IBS 茨城放送】

## ● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	サイズ (縦×横cm)	材質
1	ヨットのある静物	1974年	90.9×72.7	油彩・キャンバス
2	みどりの花ビンの静物	1975年	45.5×37.9	油彩・キャンバス
3	青いコップとビン	1977年	100.2×81.1	油彩・キャンバス
4	青いビンとろうそくたて	1977年	100.2×81.1	油彩・キャンバス
5	帽子と玩具	1979年	89.2×116.1	油彩・キャンバス
6	サン・レミのダリア	1982年	33.0×24.0	油彩・キャンバス
7	サン・ペレー	1985年	27.3×40.9	油彩・キャンバス
8	ペレーイヴリイ郊外	1985年	53.0×33.3	油彩・キャンバス
9	バアニュー鉄道発着所	1985年	54.2×81.0	油彩・キャンバス
10	壇の静物	1987年	53.0×33.3	油彩・キャンバス
11	メニューール郊外	1989年	53.5×72.7	油彩・キャンバス
12	城跡(シミエ)南仏	1990年	90.9×60.6	油彩・キャンバス
13	ギヤンクール飛行場	1995年	112.0×162.1	油彩・キャンバス
14	ダンス	1995年	89.2×116.0	油彩・キャンバス
15	回想	1995年	81.0×116.0	油彩・キャンバス
16	窓辺の静物	1995年	80.3×116.7	油彩・キャンバス
17	サーカス小屋	1995年	72.8×91.2	油彩・キャンバス
18	野の花	1995年	73.1×50.2	油彩・キャンバス
19	コンカルノの家	1995年	60.3×73.0	油彩・キャンバス
20	壇の静物	1995年	53.2×73.0	油彩・キャンバス
21	窓辺の三色すみれ	1995年	41.0×33.0	油彩・キャンバス
22	運河のある風景	1996年	80.8×115.9	油彩・キャンバス
23	雪の窓辺のバヨリン弾き	1996年	91.4×73.0	油彩・キャンバス

No.	作品名	制作年	サイズ (縦×横cm)	材質	(所蔵)
24	インク壺と果物	1998年	33.4×24.2	岩彩・紙	
25	糸巻きの静物	1998年	21.5×33.4	岩彩・紙	
26	回想	1999年	130.0×162.2	油彩・キャンバス	
27	水差しのある静物	1999年	73.0×92.1	油彩・キャンバス	
28	壘と人形のある静物	1999年	65.2×92.3	油彩・キャンバス	
29	ベル・イル	1999年	65.2×92.0	油彩・キャンバス	
30	窓辺の静物	1999年	60.2×73.1	油彩・キャンバス	
31	室内	1999年	60.0×73.1	油彩・キャンバス	
32	馬のいる風景	1999年	54.2×73.4	油彩・キャンバス	
33	村の教会	1999年	54.2×65.0	油彩・キャンバス	
34	海辺の静物	2002年	80.5×117.0	油彩・キャンバス	
35	ある音楽家の回想	2003年	91.5×117.0	油彩・キャンバス	
36	運河	2003年	65.0×92.0	油彩・キャンバス	
37	追憶	2005年	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
38	月・追憶	2005年	130.0×162.0	油彩・キャンバス	(損保ジャパン東郷青児美術館蔵)
39	ノルマンディーの船着場	2005年	81.0×116.0	油彩・キャンバス	
40	灯台の見える風景	2005年	81.0×116.0	油彩・キャンバス	
41	卓上の静物	2005年	91.5×117.0	油彩・キャンバス	
42	壘と置時計	2005年	72.0×90.5	油彩・キャンバス	
43	橋のある風景	2005年	65.3×92.4	油彩・キャンバス	
44	雪の水道門	2005年	72.7×91.0	油彩・キャンバス	
45	パッサージュ	2005年	73.0×91.5	油彩・キャンバス	
46	雪のセーナ河畔	2005年	65.5×91.0	油彩・キャンバス	
47	セーナ河畔	2005年	24.0×33.0	油彩・キャンバス	
48	電波塔の見える風景	2005年	24.0×33.0	油彩・キャンバス	
49	ケ・ブランリー美術館	2007年	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
50	祝花	2007年	65.5×91.0	油彩・キャンバス	
51	雪の三色すみれ	2007年	65.5×91.0	油彩・キャンバス	
52	聖書物語 V	1999年	22.5×30.1	油彩・キャンバス	
53	聖書物語 VIII	1999年	18.2×25.7	油彩・キャンバス	
54	聖書物語 XIV	1999年	10.5×22.0/6.5×16.5 (楕円部分)	油彩・石	
55	天地創造	2001年	19.0×27.4	油彩・キャンバス	
56	天地創造	2001年	19.1×27.4	油彩・キャンバス	
57	旅路 I	2003年	24.3×33.4	油彩・キャンバス	
58	バベルの塔 II	2003年	25.9×24.5	油彩・キャンバス	
59	バベルの塔 III	2004年	50.0×65.2	油彩・キャンバス	
60	アブラハム	2004年	22.0×27.2	油彩・キャンバス	
61	ノアの箱舟 II	2004年	38.0×45.5	油彩・キャンバス	
62	Kojiro Icon	2004年	16.0×11.0	油彩・キャンバス	
63	Kojiro Icon	2004年	16.0×11.0	油彩・キャンバス	
64	神殿の少年 (聖書物語)	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
65	ガリラヤの漁師 (聖書物語)	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
66	祝福を喜ぶ子供たち	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
67	収穫 (聖書物語)	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
68	無花果の木のザアカイ (聖書物語)	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
69	語らい (聖書物語)	2006年	11.0×10.0	油彩・キャンバス	
70	教え (聖書物語)	2006年	21.8×22.4	油彩・キャンバス	

No.	作品名	制作年	サイズ (縦×横cm)	材質
71	猿の楽園	2007年	38.1×45.7	油彩・キャンバス
72	天使	2001年	h21.2	ベル・彩色
73	天使 I	2003年	h13.3	油彩・金属
74	ガリラヤ湖の朝日	2004年	h13.7	油彩・木
75	聖パウロ	2004年	h10.7	油彩・木
76	キリスト	2004年	h16.5	油彩・木・金属
77	聖なる小鳥	2004年	h17.5	油彩・木
78	鳥達のモビール	2007年	h52.0	油彩・粘土・金属
79	スペインのセレナード	1995年	30.1×13.1	油彩・金属
80	ダンシングオールナイト	1995年	h23.7	油彩・金属
81	異国風景	1995年	左:h25.0 右:h25.0	油彩・木
82	アリヴェデルチ ミラノ	1995年	左:h30.0 右:h25.1	油彩・木
83	秋の音階	1995年	左:h15.0 右:h30.0	油彩・木
84	作曲家T(武満徹)に捧ぐII	1995年	左:h6.0 中:h7.8 右:h4.4	油彩・木
85	龍三郎カンヌにて	1995年	左:5.8 右:18.8	油彩・木
86	誓い	1995年	h9.8	油彩・木
87	パントル ミュージシャン	1996年	左:h25.1 右:h14.9	油彩・木
88	私も音楽家	1997年	22.6×30.1	紙・油彩・コラージュ
89	オマー・0	1997年	27.5×19.2	紙・油彩・コラージュ
90	天使の糧	1997年	22.5×30.0	紙・油彩・コラージュ
91	乗換	1997年	27.3×19.0	紙・油彩・コラージュ
92	ローマへの旅路	1997年	15.2×20.2	板・紙・ロバのミニチュア・彩色
93	マスク	1997年	16.8×7.7	板・鉄(コルクスクリュウ・鍵)・布・彩色
94	四角い風景	1997年	11.0×12.2	紙・油彩・コラージュ
95	ロミオ エ ジュリエット	1997年	12.3×11.1	板にコラージュ(紙・布)・彩色
96	アンドレからの手紙	1997年	16.0×11.0	紙・油彩・コラージュ
97	月夜に船出	1997年	11.0×16.0	板にコラージュ・彩色
98	男と女のバランス	1997年	h18.5	木・鉄・その他
99	黄色い食卓	1997年	h14.4	陶器・紙・油彩
100	出発のベル	1997年	18.8×9.4	金属・油彩・コラージュ
101	コパン	1997年	h16.8	油彩・石膏
102	黄金の鼻を持った男	2005年	4.3×3.6	油彩・鉄・金泥
103	アーネスト・ヘミングウェイ	2005年	5.5×7.7	油彩・銅・金泥
104	夏のアトリエ	2005年	6.5×3.8	油彩・銅・金泥
105	ベニスの商人	2005年	12.9×2.4	油彩・銅・金泥
106	カーニバル	2005年	4.9×3.1	油彩・鉄・金泥
107	ホテル・カリフォルニア	2005年	5.0×2.8	油彩・銅・金泥
108	散歩してた路	2005年	6.0×2.6	油彩・銅・金泥
109	地中海の春	2005年	6.0×3.0	油彩・銅・金泥
110	劇場(第四夜)	2006年	31.5×22.2×30.0	油彩・木・アクリル
111	本音と建前	2007年	6.0×10.5×h14.0	木・鏡・ステンレス・キャンバス・油彩
112	カラスと孔雀	2007年	6.0×10.5×h14.0	木・鏡・ステンレス・キャンバス・油彩
113	ジキルとハイド	2007年	6.0×10.5×h14.0	木・鏡・ステンレス・キャンバス・油彩
114	兎と亀	2007年	6.0×10.5×h14.0	木・鏡・ステンレス・キャンバス・油彩
115	魚の楽園	2005年	60.0×40.0	ガッシュ・紙・パステル・アルミニウム・金属
116	予約された恋愛	2005年	19.8×20.0	ガッシュ・アルミニウム・発泡スチロール・板
117	赤い魚の物語	2005年	20.0×20.0	ガッシュ・アルミニウム・板
118	小象のタンゴ	2005年	20.0×20.0	ガッシュ・アルミニウム・板

No.	作品名	制作年	サイズ (縦×横cm)	材質
119	星占い	2007年	30.0×93.0	木・アルミ・太陽電池・油彩・コラージュ
120	モンテカルロ	2007年	19.9×19.7	木・アルミ・油彩・コラージュ
121	村の仲間	2007年	20.1×19.8	木・アルミ・油彩・コラージュ
122	ヤンキースのMATSUIを観に行こう	2005年	30.0×20.0	油彩・木・アルミニウム
123	ロンシャン競馬場	2005年	32.0×10.0×h26.0	ガッシュ・発泡スチロール・木・銅
124	海ゆかば	2007年	30.0×45.0 (h約14.0)	木・油彩・コラージュ
125	オレンジメカニック	2008年	h43.5	木・金属・油彩・アクリル

## 魅惑の像—具象的なるかたち

- 会期 平成20年7月25日(金)～8月24日(日)
- 主催 茨城県つくば美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 296mm×225mm 115頁  
編集：外館和子  
発行：茨城県つくば美術館
- 入場者数 4,147人
- 観覧料 一般380(320)円／高校・大学生280(220)円  
小・中学生180(120)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 49点
- 内容解説

私たちは古来より埴輪や土偶に始まり、仏像や人形など、人を模したかたち、人のようなかたち、もしくは人になぞらえたかたちの像に向き合ってきた。近代に入るとそうした具象的造形物のあるものは、西欧の美術概念や価値基準に照らし、「彫刻」と呼ばれ、「置物」「人形」「工芸」などと区別されていった。しかし、その後も様々な領域で人間や動植物などをモチーフにした表現に取り組む作家たちの活動は続けられ、殊に近年、人工物のイメージをも含めた具象的な像が改めて注目されている。

本展では、旧来とは異なる造形史観に基づき、人らしきもの、生き物らしきもの、擬人化されたもののイメージを借りて表現される現代の像が志向するものを、幅広い世代の作家たち6人の作品約50点により紹介した。

- 担当 外館和子(主任学芸員)
- 関連事業
  - ・ギャラリートーク  
担当 外館和子  
日時 7月27日(日) 午後2時から  
会場 展示室
  - ・対談  
講師 籾内佐斗司(出品作家)×外館和子  
日時 8月2日(土) 午後2時から  
会場 アルスホール
  - ・鼎談  
講師 北川宏人(出品作家)×中村義孝(出品作家)×外館和子  
日時 8月9日(土) 午後2時から  
会場 アルスホール
  - ・ワークショップ  
「キッズアーティストあつまれ! 鑄造ワークショップ」  
講師 中村義孝  
日時 8月17日(日) 午後1時から4時  
会場 筑波大学およびつくば美術館
- 関連記事
  - ・「新美術時評 人形的具象性」(外館和子)  
6月11日【新美術新聞】
  - ・「逸品一話 北川宏人「ニュータイプ2005—ワンピース」」(外館和子)  
6月12日【朝日新聞】



図録



ポスター



チラシ A4

- ・「現代作家6人の立体造形展」(蜂谷和子)  
6月22日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」  
7月11日【日本経済新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」  
7月12日【常陽リビング】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」7月12日【リビング柏】
- ・「現代作家6人による様々な素材の具象的な立体造形展」  
7月15日【サワウ】
- ・「魅惑の像 具象的なるかたち」7月21日【新美術新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」7月23日【朝日新聞】
- ・「魅惑的な像を展示」7月31日【朝日新聞】
- ・「企画展 魅惑の像―具象的なるかたち」  
7月号【art\_icle】
- ・「魅惑の像 具象的なるかたち」  
7月号【スペースマガジン】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」7月号【ENSEN Living】
- ・「魅惑の像 具象的なるかたち」7月号【B Life】
- ・「魅惑の像 具象的なるかたち」7月号【月刊みと】
- ・「独創的な作品そろう 企画展「魅惑の像」(蜂谷和子)  
8月4日【常陽新聞】
- ・「具象ブームの背景 24日まで「魅惑の像」展(佐川友一)  
8月4日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち1 山野千里「たこパルーン」(外館和子)  
8月4日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち2 簀内佐斗司「大うつせみ童子」(外館和子)  
8月6日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち3 北川宏人「ニュータイプ2005ーグリーン」(外館和子) 8月7日【茨城新聞】
- ・「茨城県つくば美術館「魅惑の像～具象的なるかたち～」  
8月7日【まいいびらき】
- ・「企画展「魅惑の像～具象的なるかたち～」  
8月7日【東京新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち 4 中村義孝「進化の系譜」(外館和子) 8月8日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像1 日本人の造形“眠りの守護神”」(外館和子)  
8月12日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像2 見る者の想像力を解放」(外館和子)  
8月13日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像50点展示」8月13日【読売新聞】
- ・「魅惑の像3 近未来的雰囲気の人間像」(外館和子)  
8月14日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像4 眠りの守護神」(外館和子)  
8月15日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像5 感情の共有求める少年の目」(外館和子)  
8月16日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像6 生き物の気配を示す」(外館和子)  
8月17日【常陽新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち5 永富悦史「Untitled」(外館和子) 8月18日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち6 伊藤遠平「帽子の男」(外館和子) 8月20日【茨城新聞】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」8月号【ENSEN Living】
- ・「人形・彫刻・陶芸を跨ぐ日本的な形象―魅惑の像>が示す人形的具象性」(外館和子) 8月号【陶説】
- ・「魅惑の像―具象的なるかたち」  
Vol.16 (夏)【美術の杜】
- ・「新美術時報 展覧会番外編:具象・リアリズム・ミュージック」(外館和子) 9月21日【新美術新聞】
- ・「今月のランキング BEST4 魅惑の像―具象的なるかたち」  
10月号【月刊ギャラリー】
- 関連放送
- ・「みんなの教育」7月26日【IBS 茨城放送】
- ・「新日曜美術館 アートシーン」  
8月3日【NHK 教育テレビ】

## ● 出品作品一覧

no.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	(所蔵)
1	簀内 佐斗司	朝露童子	1994	檜, 漆, 顔料	h89.5	(社会福祉法人宝樹園)
2	簀内 佐斗司	猿の童子	1996	檜, 漆, 顔料	h20.5	(うるし蔵)
3	簀内 佐斗司	小雷公, 金雲を耕す	1997	檜, 漆, 顔料	h25.8	(うるし蔵)
4	簀内 佐斗司	振鈴童子	1998	檜, 漆, 顔料	h35.0	
5	簀内 佐斗司	蓮の手	1998	檜, 漆, 顔料, ブロンズ	h107.6~141.4	
6	簀内 佐斗司	大勝ち虫童子	1999	檜, 漆, 顔料, 合成樹脂	h61.2	
7	簀内 佐斗司	大うつせみ童子	2000	檜, 漆, 顔料	h123.4	
8	簀内 佐斗司	守銭童子	2001	檜, 漆, 顔料	h21.0	
9	簀内 佐斗司	金運将来おきばり童子	2001	檜, 漆, 顔料	h19.0	

no.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	(所蔵)
10	籾内 佐斗司	うたたね童子	2001	檜, 漆, 顔料	h9.5	
11	籾内 佐斗司	お祈り童子	2003	檜, 漆, 顔料	h71.0	
12	籾内 佐斗司	お祈り童女	2003	檜, 漆, 顔料	h45.0	
13	籾内 佐斗司	光明童子のぞく	2007	檜, 漆, 顔料	縦44.0×横44.0	
14	中村 義孝	白い絆	1996	蠟型ブロンズ, 木, 象牙	h130.0	
15	中村 義孝	目覚め	1998	蠟型ブロンズ	h43.0	
16	中村 義孝	眠りの森の復活	1999	蠟型ブロンズ, アルミ, 木, 象牙	h180.0	
17	中村 義孝	進化の系譜	2008	蠟型ブロンズ, 水道管部品, 象牙	h150.0	
18	北川 宏人	ニュータイプ2003-ブラック	2003	テラコッタ, アクリル絵具	h170.0	(金沢21世紀美術館蔵)
19	北川 宏人	ニュータイプ2005-ブルー	2005	テラコッタ, アクリル絵具	h170.0	(金沢21世紀美術館蔵)
20	北川 宏人	ニュータイプ2005-ワンピース	2005	テラコッタ, アクリル絵具	h168.0	(金沢21世紀美術館蔵)
21	北川 宏人	ニュータイプ2005-ホワイト	2005	テラコッタ, アクリル絵具	h172.0	(金沢21世紀美術館蔵)
22	北川 宏人	ニュータイプ2005-グリーン	2005	テラコッタ, アクリル絵具	h170.0	(金沢21世紀美術館蔵)
23	永富 悦史	untitled	1997	鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	h130.0	
24	永富 悦史	untitled	1999	木, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦34.0×横25.0 (木箱)	
25	永富 悦史	untitled	1999	木, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦35.0×横25.0 (木箱)	
26	永富 悦史	untitled	2000	鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	h33.0	
27	永富 悦史	untitled	2001	鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	h28.0	
28	永富 悦史	untitled	2003	木製パネル, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦36.0×横36.0 (キャンバス)	
29	永富 悦史	untitled	2003	木製パネル, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦36.0×横36.0 (キャンバス)	
30	永富 悦史	untitled	2003	木製パネル, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦36.0×横36.0 (キャンバス)	
31	永富 悦史	untitled	2003	木製パネル, 鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	縦36.0×横36.0 (キャンバス)	
32	永富 悦史	untitled	2008	鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	h60.0	
33	永富 悦史	untitled	2008	鉄, 不織布, 真鍮, アクリル絵具	h113.0	
34	伊藤 遠平	コートの男	2007 但し'08に 加筆	油絵具, キャンバス	縦194.0×横96.8	
35	伊藤 遠平	白い服の女	2007 但し'08に 加筆	油絵具, キャンバス	縦116.6×横72.2	
36	伊藤 遠平	髪の高い男の肖像	2007	油絵具, キャンバス	縦18.2×横14.0	
37	伊藤 遠平	帽子の男	2008	石粉粘土, 油絵具	h62.0	
38	伊藤 遠平	茶色の服の男	2008	石粉粘土, 油絵具	h72.0	
39	山野 千里	ウーパーカーレース	2006	陶(半磁土, 色絵)	h5.0	
40	山野 千里	五重のバレリーナ	2006	陶(半磁土, 色絵)	h24.0	
41	山野 千里	甲サイ 乙カエル	2007	陶(半磁土, 色絵)	h21.0	
42	山野 千里	大脱走-シマウマ作戦	2007	陶(半磁土, 色絵)	h10.0	
43	山野 千里	エリマキパラソル	2007	陶(半磁土, 色絵)	h12.0	

no.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	(所蔵)
44	山野 千里	たこバルーン	2007	陶 (半磁土, 色絵)	h25.0	
45	山野 千里	イカヤック	2007	陶 (半磁土, 色絵)	台は真 鍮	h13.0
46	山野 千里	1UK セバ池近	2008	陶 (半磁土, 色絵)	h12.0	
47	山野 千里	プレーリープレート	2008	陶 (半磁土, 色絵)	h3.0	
48	山野 千里	アニ万	2008	陶 (半磁土, 色絵)	h4.0	
49	山野 千里	ナマズの穴	2008	陶 (半磁土, 色絵)	h7.0	

## 茨城県近代美術館コレクション展

### 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界

- 会期 平成20年9月27日（土）～10月19日（日）
- 主催 茨城県つくば美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 入場者数 2,569 人
- 観覧料 一般 180(140)円／高校・大学生 110 (80) 円  
小学・中学生 80(50)円  
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 出品点数 66 点
- 内容解説

茨城県近代美術館のコレクションより、安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の3人の作家の作品を紹介する展覧会。各作家20点以上により展示構成した。

近代的なフォルムの人物画や静物画を描いた油彩画の安藤信哉は、明治30年(1897)に千葉県に生まれた。3才のときに父が教員として赴任するため一家とともに茨城県の水海道（常総市）に移り住んだ。昭和4年に帝展に初入選を果たし、以後画家として活躍する一方、聴覚障害者の美術教育にも貢献したことで知られる。

雲のドラマなど大自然の光と影を大胆・明快な筆法で描いた水彩画の小堀進は、明治37年(1904)に茨城県潮来市に生まれた。昭和4年に上京、教員を務めながら白日展、日本水彩画会展などに出品を続けた。昭和15年、小学校退職、同志8名で水彩連盟を結成、以降本格的に水彩画家

として活躍を続け、昭和49年には水彩画家初の日本芸術院会員となった。

流麗なフォルムと幻想的またはロマンティックな作風で知られる永瀬義郎は、明治24年(1891)に茨城県岩瀬（桜川市）に生まれた。東京美術学校彫刻科に入学し、版画は独学で始め、大正2年には文芸雑誌『聖盃』（『仮面』）の同人となり、大正期における創作版画の草分け的存在となった。

本展では、これら茨城県にゆかりの深い作家の作品を、今日の人々の新しい視点から見直した。

●担当 舟木力英（副参事兼分館長）・外館和子（主任学芸員）

#### ●関連事業

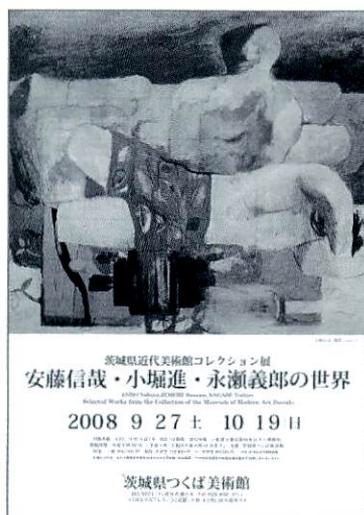
- ・ギャラリートーク  
日時 10月12日（日）午後2時から  
会場 展示室
- ・ワークショップ  
「キッズアーティストあつまれ！版画ワークショップ」  
講師 岩佐徹（版画家）  
日時 10月18日（土）午後1時から4時  
会場 講座室および展示室

#### ●関連記事

- ・「茨城県近代美術館コレクション展～安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界～」 9月4日【まいいばらき】
- ・「茨城ゆかりの芸術家」（原田啓之）  
9月10日【毎日新聞】
- ・「安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」  
9月11日【協同組合通信】
- ・「県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」  
9月17日【朝日新聞】



ポスター



チラシ A4

- ・「県近代美術館コレクション展～安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 9月19日【日本経済新聞】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 9月25日【いとぶれ】
- ・「安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の作品展」 9月29日【両毛新聞】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 9月号【スペースマガジン】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 9月号【定年時代 茨城版】
- ・「作家3人の所藏品一堂に」(青木睦子) 10月8日【常陽新聞】
- ・「茨城ゆかりの作家紹介」 10月15日【茨城新聞】
- ・「県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 10月号【沿線リビング】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 10月号【スペースマガジン】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展 安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」 10月号【月刊みと】

## ● 出品作品一覧

no.	作家名	作品名	制作年	材質
1	安藤 信哉	自画像	昭和初期(c. 1926-1945)	油彩・麻布・額装
2	安藤 信哉	友の像	昭和 4年(1929)	油彩・麻布・額装
3	安藤 信哉	曠野	昭和 30年(1955)	油彩・麻布・額装
4	安藤 信哉	裸婦	昭和 31年(1956)	油彩・麻布・額装
5	安藤 信哉	室内	昭和 32年(1957)	油彩・麻布・額装
6	安藤 信哉	作品 B	昭和 35年(1960)	油彩・ベニヤ板・額装
7	安藤 信哉	伝説	昭和 37年(1962)	油彩・麻布・額装
8	安藤 信哉	一隅	昭和 38年(1963)	油彩・麻布・額装
9	安藤 信哉	画室にて	昭和 39年(1964)	油彩・麻布・額装
10	安藤 信哉	N君	昭和 43年(1968)	油彩・麻布・額装
11	安藤 信哉	室内	昭和 43年(1968)	油彩・麻布・額装
12	安藤 信哉	ひるさがり	昭和 46年(1971)	油彩・麻布・額装
13	安藤 信哉	静物	昭和 48年(1973)	油彩・麻布・額装
14	安藤 信哉	蓮	昭和 51年(1976)	油彩・麻布・額装
15	安藤 信哉	室内	昭和 53年(1978)	油彩・麻布・額装
16	安藤 信哉	静物	昭和 54年(1979)	油彩・麻布・額装
17	安藤 信哉	静物	昭和 55年(1980)	油彩・麻布・額装
18	安藤 信哉	静物	昭和 55年頃(c. 1980)	紙本・墨画・淡彩・額装
19	安藤 信哉	画室にて	昭和 56年(1981)	油彩・麻布・額装
20	安藤 信哉	一隅	昭和 57年(1982)	油彩・麻布・額装
21	安藤 信哉	早春	昭和 57年(1982)	油彩・麻布・額装
22	小堀 進	高原	昭和 8年(1933)	水彩・紙・額装
23	小堀 進	初夏の裏磐梯	昭和 18年(1943)	水彩・紙・額装
24	小堀 進	驟雨	昭和 22年(1947)	水彩・紙・額装
25	小堀 進	高原	昭和 24年(1949)	水彩・紙・額装
26	小堀 進	蓼科高原	昭和 27年(1952)	水彩・紙・額装
27	小堀 進	大正池	昭和 27年(1952)	水彩・紙・額装
28	小堀 進	ひばりヶ丘	昭和 27年(1952)	水彩・紙・額装
29	小堀 進	霞ヶ浦	昭和 29年(1954)	水彩・紙・額装
30	小堀 進	湖畔	昭和 29年(1954)	水彩・紙・額装
31	小堀 進	高原	昭和 30年(1955)	水彩・紙・額装
32	小堀 進	花と雲	昭和 31年(1956)	水彩・紙・額装
33	小堀 進	三原山	昭和 32年(1957)	水彩・紙・額装
34	小堀 進	砂丘	昭和 33年(1958)	水彩・紙・額装

no.	作家名	作品名	制作年	材質
35	小堀 進	霧立つ	昭和 35 年(1960)	水彩・紙・額装
36	小堀 進	城壁と民家	昭和 37 年(1962)	水彩・紙・額装
37	小堀 進	五月の頃	昭和 38 年(1963)	水彩・紙・額装
38	小堀 進	晨峯	昭和 39 年(1964)	水彩・紙・額装
39	小堀 進	山	昭和 40 年(1965)	水彩・紙・額装
40	小堀 進	沖縄の海	昭和 42 年(1967)	水彩・紙・額装
41	小堀 進	錦秋	昭和 46 年(1971)	水彩・紙・額装
42	小堀 進	虹	昭和 49 年(1974)	水彩・紙・額装
43	永瀬 義郎	風景	大正 10 年頃(c. 1921)	木版・紙・額装
44	永瀬 義郎	風景 (芦ノ湖)	昭和 2 年(1927)	木版・紙・額装
45	永瀬 義郎	母の愛	昭和 4 年(1929)	木版・紺紙・金刷・額装
46	永瀬 義郎	サーカス	昭和 13 年(1938)	雑版・紙・額装
47	永瀬 義郎	影 (二部作「光と影」より)	昭和 30 年(1955)	ステンシル・モノタイプ・紙
48	永瀬 義郎	初夏	昭和 32 年(1957)	ステンシル・紙・額装
49	永瀬 義郎	女体に咲く花	昭和 32 年(1957)	木版・紙
50	永瀬 義郎	月光	昭和 35 年(1960)	ステンシル・紙・額装
51	永瀬 義郎	壁に宿る影	昭和 35 年(1960)	木版・雑版・紙・額装
52	永瀬 義郎	屋根裏	昭和 37 年(1962)	木版・雑版・紙・額装
53	永瀬 義郎	暮色	昭和 37 年(1962)	フロッタージュ・雑版・紙・額装
54	永瀬 義郎	空のカリカチュール	昭和 40 年(1965)	フロッタージュ・木版・紙・額装
55	永瀬 義郎	三姉妹	昭和 43 年(1968)	木版・樹脂版・紙・額装
56	永瀬 義郎	こども	昭和 46 年(1971)	合成樹脂版・セルロイド版・紙・額装
57	永瀬 義郎	裸女昇天	昭和 49 年(1974)	ステンシル・紙・額装
58	永瀬 義郎	おんなくグループから出てきた女>	昭和 51 年(1976)	リトグラフ・紙
59	永瀬 義郎	もの想う天使<どろんこ天使>	昭和 51 年(1976)	NP' 73・紙
60	永瀬 義郎	もの想う天使<もの想う天使>	昭和 51 年(1976)	NP' 73・紙
61	永瀬 義郎	もの想う天使<童子>	昭和 51 年(1976)	NP' 73・紙
62	永瀬 義郎	田園交響曲<蝶>	昭和 52 年(1977)	NP' 73・紙
63	永瀬 義郎	浪漫<からくり>	昭和 53 年(1978)	NP' 73・紙
64	永瀬 義郎	浪漫<三姉妹>	昭和 53 年(1978)	木版・合成樹脂・金刷・紺紙
65	永瀬 義郎	浪漫<洞窟の処女>	昭和 53 年(1978)	木版・金刷・紺紙
66	永瀬 義郎	浪漫<浪漫>	昭和 53 年(1978)	NP' 73・紙

## 2 貸ギャラリーによる展覧会

創作活動の発表の場を提供し、地域の文化の振興に寄与する目的から、展示室を一般に貸し出し、貸しギャラリーによる展覧会を実施している。

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
4/2(水)～4/6(日)	XIVth ART WAVE TSUKUBA 2008	つくば市を中心に県内外の作家が活動を続けるアートウェーブつくばの展覧会。日本画、洋画、彫刻、工芸、写真、立体、書といったバラエティに富んだジャンルの作品が展示された。 [出品者数 58名, 出品点数 約150点]	1,289人
4/8(火)～4/13(日)	第25回 茨城現展	現代美術家協会茨城支部の展覧会。茨城支部会員作品を中心に、本部作品、一般出品作品が展示された。分野は絵画、デザイン、立体、写真、陶芸。テーマ色をブルーとした合同作品も展示。 [出品者数 35名, 出品点数 97点]	967人
4/15(火)～4/20(日)	6つの写真グループの展覧会	阿見町在住の写真家高野経将氏に指導を受けている県南地区6つの写真グループの展覧会。それぞれの会員が一年間の集大成として、思い思いの作品を発表した。 [出品者数 66名, 出品点数 268点]	1,006人
5/28(水)～6/1(日)	第12回 紫流書道会展	つくば市在住の書道家興水紫石氏とその門下生等による書道展。幼児から大人まで様々な年代の会員が制作した、漢字・かな・調和体・篆刻などの作品が展示された。 [出品者数 115名, 出品点数 168点]	1,269人
	'08 自然素材でつくる住まいづくり展 Vol.6	人間と自然環境が調和した住まいづくりを提案。施主や素材、過去や未来との「対話」をもとに考え設計された住宅をパネルや模型により展示。ゲストとして建築家の矢口博幸氏、井川一幸氏が参加した。 [出品者数 3名, 出品点数 20点]	
6/3(火)～6/8(日)	第22回 フォトサークル土浦写真展	土浦市で活動する「フォトサークル土浦」の作品展。風景写真や動植物、人物を被写体としたそれぞれのテーマを持った作品の他に1年間の共通課題として取り組んだ「記憶」をテーマにした作品を発表した。 [出品者数 14名, 出品点数 107点]	1,490人
	第14回 君光と門人たち展	守谷市の日本画家・北尾君光氏が主催する「君光画友会」と、障害福祉サービス事業所「ひまわり園」の生徒による展覧会。風景画や、植物を描いた絵画作品が多く展示された。 [出品者数 120名, 出品数 160点]	
10(火)～6/15(日)	朔日会つくば巡回展	1937年に創立され、現在まで活動を続ける朔日会のつくば巡回展。人物や風景を描いた絵画作品や、版画、写真も展示された。朔日会賞や茨城県知事賞を受賞した作品も並んだ。 [出品者数 46名, 出品点数 100点]	636人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
6/17(火)～6/22(日)	全日本写真連盟第 14 回常総支部写真展	大正 15 年に創設された写真愛好家の団体、全日本写真連盟・常総支部の作品展。身近な風景の写真や各地の美しい風景、動植物や人物を撮影した写真が展示された。 [出品者数 26 名, 出品点数 108 点]	1,281 人
	「VIDEO&SOUND Scape」金在權映像展/金度亨展/李潤宙宙造形展	韓国の若者 3 人による個人展形式の展覧会。金在權氏は自然をテーマとした映像作品、金度亨氏は回転と素材をテーマとした運動造形作品、李潤宙氏は動きと光の立体空間作品を展示した。 [出品者数 3 名, 出品点数 18 点]	
6/24(火)～6/29(日)	第 15 回記念 游美会日本画展	日本画家・中島虎威氏が主催する「游美会」の作品展。風景、人物、花など各自のテーマで描いた作品を展示。出品者全員が 1 点ずつ制作した扇形の作品も展示された。 [出品者数 35 名, 出品点数 172 点]	1,706 人
	魅せられて 11	取手市を中心とする写真愛好家による写真集団「ピン歩気」の会員による展覧会。会員 25 名それぞれがテーマを決め、動物、植物、国内や外国の風景などをモチーフにして思い思いに撮影した写真が展示された。 [出品者数 25 名, 出品点数 152 点]	
7/1(火)～7/6(日)	街のアーティスト&全日肖茨城支部展	つくば市在住の画家蓮乗院一雲氏の主宰するつくば絵画会と全日本肖像美術協会茨城支部の合同展覧会。つくば絵画会は動植物や風景画などを展示した。全日肖茨城支部は身近な人や著名人をモデルにした肖像画を展示。 [出品者数 60 名, 出品点数 188 点]	1,760 人
7/8(火)～7/13(日)	写真展「それぞれの視点」 3 クラブ合同展	クラブ成立の経緯、活動歴、活動分野などが異なる写友「河童」、茨城読売写真クラブ霞ヶ浦支部、茨城自然写真の 3 クラブが、写真に対する思いを唯一の共通項にして、合同展を開催した。 [出品者数 63 名, 出品点数 138 点]	1,566 人
	第 13 回 つくば太湖の会水墨画展	筑波大学公開講座の修了生を中心として発足された「つくば太湖の会」の作品発表展。年齢も職業も異なる会員の、幅広い技術の習得に努め、研鑽を重ね制作された作品が展示された。 [出品者数 17 名, 出品点数 66 点]	
7/15(火)～7/21(月)	二紀展 茨城支部展	昭和 22 年「美術の第二の紀元を画する」の意図のもとに創立した二紀会の茨城支部展。委員と会員 38 名による油彩を主とした絵画作品 76 点を展示。 [出品者数 38 名, 出品点数 76 点]	1,197 人
8/27(水)～8/31(日)	第 2 回 テーブルコーディネート展「暮らしの真ん中に食卓を」	つくば市や柏市などで活動している、田淵弘子氏主催のテーブルコーディネート教室レオズテーブルの展覧会。出品者各々がテーマを決め、季節、場所、ゲストやテーブルに並べる料理のメニューなどの詳細を設定してコーディネートされた食卓が展示室に並んだ。 [出品者数 40 名, 出品点数 36 点]	1,321 人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
9/2(火)～9/7(日)	第 32 回 筑波研究学園都市 全日本連合書道選抜展	全日本連合書道展は、昭和 50 年に高校生の作品発表の場として、県南地方に発足した。中央の入選作家・県内外の書道家・県内高校生によるあらゆる分野の書の作品が出品された。 [出品数 86 名, 出品点数 約 100 点]	1,117 人
	第 12 回 七彩会 日本画二 十人展	つくば市在住で日本美術院の院友である日本画家大坪由明氏を講師とする日本画の会「七彩会」の展覧会。会員 20 名が、情緒的な風景、建造物、動植物などのモチーフを思い思いの視点で描いた。 [出品者数 20 名, 出品点数 70 点]	
9/9(火)～9/15(月)	第 14 回 清明 21 美術協会展	土浦市在住の画家・本堂清氏が講師を務める、千代田水墨会、社教文人会、清明会、六墨会、紫翠会、油遊会、ポプラの会の 7 つのグループによる展覧会。会員の一年間の集大成と言える、水墨画と油絵の作品が展示室に並んだ。 [出品者数 74 名, 出品点数 235 点]	1,455 人
9/17(水)～9/23(火)	第 1 回合同展 つくばアート G4 (アトリエあづま/彩芽会/G アルス/游画会)	つくばを拠点に活動する 4 つの絵画グループの合同展覧会。水彩・油彩など思い思いの画材を用いて抽象画から人物画や静物・風景などさまざまなモチーフを描いた個性あふれる作品が展示室された。 [出品者数 42 名, 出品点数 194 点]	1,412 人
10/22(水)～10/26(日)	第 27 回 茗溪学園美術展	茗溪学園美術科の教育活動の紹介を中心とした展覧会。生徒たちが中等部と高等部の授業で制作した水彩・油彩・粘土を使った作品、塑像や木版画が美術・書道・写真各クラブの作品とともに展示された。 [出品者数 850 名, 出品点数 約 1400 点]	2,138 人
11/1(土)～11/9(日)	第 23 回 国民文化祭・いばら き 2008 「美術展 (写真・デザ イン) 」	つくば美術館では「美術展 (写真・デザイン) 」会場として全国から公募された作品の中から選ばれた優秀作品が展示された。 [出品者数 357 名, 出品点数 358 点]	3,670 人
11/13(木)～11/24(月)	第 2 回 つくば美術展	「かんじる」をテーマに市内在住の作家 19 名 (洋画, 日本画, 版画, 彫刻) によるつくば発の新作を含む美術展。 [出品者数 19 名, 出品点数 71 点]	3,031 人
11/26(水)～11/30(日)	平成 20 年度筑波大学大学院 人間総合科学研究科博士前期 課程芸術専攻 洋画・日本画・版画 作品展 第 24 回 「MC 展」	平成 18 年度までは修士課程芸術研究科に在籍する学生の発表の場として開催されていましたが、昨年度の大学院統合再編により、人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻の学生による展覧会となった MC (Master's program Course) 展。 [出品者数 36 名, 出品点数 50 点]	1,010 人
12/2(火)～12/7(日)	第 2 回 グリーン・リーブス 展	県南地区に在住している会員の作品展。各会員が小作品を 1 点, 大きな作品を 3～5 点出品。人物や風景、動植物をモチーフにした油彩による具象絵画が展示された。 [出品者数 11 名, 出品点数 48 点]	903 人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
	第8回守谷陶芸会「つくば展」	<p>県南地域を中心に陶芸に取り組む人たちが結成した会。会員と一般公募の作品が展示され、九州地方を代表する現代作家の作品も特別展示された。</p> <p>[出品者数 36名, 出品点数 71点]</p>	
12/9(火)～12/14(日)	第63回 県南高等学校連合美術展	<p>1946年から開催されてきた県南高等学校連合美術展。県南地区の高校の親睦と作品鑑賞を目的とした展覧会。今年24校が参加した。</p> <p>[出品者数 24校, 出品点数 329点]</p>	602人
12/16(火)～12/21(日)	第12回 取手松陽美術科展「有意転変」	<p>茨城県立取手松陽高校美術科の作品展。油絵、日本画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザイン、映像といった様々な表現方法をもちいて、生徒各々がテーマを持って制作した個性豊かな作品が出品された。</p> <p>[出品者数 103名, 出品点数 107点ほか授業作品]</p>	1,071人
12/23(火)～1/4(日)	平成20年度筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻作品展「DC展」	<p>芸術の創造、評価、制度、歴史などについて研究する芸術学分野の学生19人による、洋画、日本画、彫塑、書の作品が展示された。それぞれが明確なテーマを持って日々研究・制作に取り組んだ成果を発表する展覧会。</p> <p>[出品者数 19名, 出品点数 47点]</p>	1,142人
1/6(火)～1/12(月)	福田玲子展 生きているということ	<p>主体美術協会や日本美術家連盟で活躍する、取手市在住の画家、福田玲子氏の個展。「身近なところで出会った自然界のいとなみを絵にしてきた」という福田氏の、平面の絵画だけでなく、壁面の角を使った作品や床に置く立体的な絵画作品が並んだ。</p> <p>[出品数 37点]</p>	2,085人
1/14(水)～1/18(日)	書・守真会展	<p>県南地域で活動する「守真会」会員による作品展。臨書、小品、コラボ書の3部門から構成。掛け軸、屏風、色紙などに書かれた大小様々な作品が並んだ。</p> <p>[出品者数 29名, 出品点数 297点]</p>	743人
1/20(火)～1/25(日)	茨城県南芸術の門創造会議「あとの祭り」TAP&ARCUSドキュメント+フォーラム	<p>県南地域で現代アート分野において活動する取手アートプロジェクト(TAP)、アーカス・プロジェクト(ARCUS)。2つのプロジェクトが連携した茨城県南芸術の門創造会議による、写真や映像を用いた活動ドキュメント展。</p>	476人
1/27(火)～2/1(日)	第5回 ラパン展	<p>守谷市在住の画家渡邊丞氏を中心に活動する絵画グループの展覧会。静物・人物・風景・抽象画を各々が思い思いのテーマで描いた、30～100号の油彩画69点が展示された。</p> <p>[出品者数 34名, 出品点数 69点]</p>	846人
2/3(火)～2/8(日)	平成20年度 筑波大学芸術専門学群卒業制作展/前期	<p>筑波大学芸術専門学群の学生による卒業制作展。前期と後期の2週に分け、前期展では芸術学と美術専攻、後期展では構成とデザイン専攻の作品を展示。</p> <p>[出品者数 51名, 出品点数 106点]</p>	3,518人 (前期, 後期あわせて)

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
2/10(火)～2/15(日)	平成 20 年度 筑波大学芸術専門学群卒業制作展/後期	筑波大学芸術専門学群の学生による卒業制作展。後期展では構成（総合造形，クラフト，構成，ビジュアルデザイン），デザイン（情報デザイン，プロダクトデザイン，環境デザイン，建築デザイン）専攻の学生の作品が出品された。 [出品者数 73名，出品点数 73点]	
2/17(火)～2/22(日)	平成 20 年度 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻修士制作展	平成 19 年に行なわれた組織改革により前期と後期の体制となった芸術学系大学院。新たに発足した 2 年制の博士前期課程芸術専攻としては初めてとなる修了展。芸術学（美術史・芸術支援・洋画〔版画〕・日本画・彫塑・書），デザイン（総合造形・クラフト・構成・ビジュアルデザイン・情報デザイン・プロダクトデザイン・環境デザイン・建築デザイン）という領域の研究の成果を発表。 [出品者数 66名，出品点数 98点]	1,681人
2/24(火)～3/1(日)	第 8 回 チャレンジアートフェスティバル in つくば	チャレンジアートフェスティバルとは障害のある方が制作した造形物を展示したり，ダンスや太鼓，劇等を発表する，障害のある方から全ての人に向けて発信するイベント。 [出品者数 579名，出品点数 419点]	1,562人
3/3(火)～3/8(日)	第 11 回 アートシャワー展	牛久やつくば在住の作家による絵画グループ，アートシャワーの展覧会。二科会，二紀会，東光会，光風会，白日会，新協美術など公募展や茨城芸術祭などに出品し入賞した作品が多数出品された。人物画，風景画，抽象画など小作品や 50 号～100 号の作品 34 点が展示された。 [出品者数 17名，出品点数 34点]	1,157人
	はるかなるたび	寺門勝氏の個展。風景や人物，天使などが描かれた繊細な色合いの水彩画の作品 76 点が展示された。賛助出品として寺門宏之氏の切り紙絵作品 10 点と Masa 稲葉氏の写真作品 15 点も展示。 [出品者数 3名，出品点数 101点]	
3/10(火)～3/15(日)	第 4 回 極美つくば展	茨城，東京，千葉，埼玉，神奈川，北海道，石川，島根等の出身者による公募作品展。油彩，水彩，版画，日本画など様々なジャンルの作品が出品。 [出品者数 99名，出品点数 110点]	1,776人
	2009 第 7 回 彩光展	茨城県在住の作家による水彩画を主とする作品展です。日本水彩，水彩連盟，二科展等，様々な画壇で活躍中の作家が一堂に会する展覧会。風景や人物などをモチーフに描かれた作品が展示室に並んだ。 [出品者数 20名，出品点数 62点]	
3/17(火)～3/22(日)	日本プロフェッショナルアートアカデミー展	つくば市で活躍する芸術教育団体「日本プロフェッショナルアートアカデミー展」の作品展。デッサン，風景や植物を描いた作品のや映像作品が展示された。 [出品者数 28名，出品点数 95点]	1,271人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
3/24(火)～3/29(日)	牧園絵画教室絵画展	牧園絵画教室とは画家の古山浩一氏を講師とする、つくば市牧園地区近辺の絵の好きな人たちが集まり 5 年前に結成された絵画サークル。外国の風景や、人物など思い思いのモチーフを描いた作品点が出品された。 [出品者数 11名, 出品点数 81点]	1,095人
	デジタル風景写真展<花香風VII>	つくば市の写真家小野ひさお氏の個展。世界遺産であるイースター島や沖縄、北海道、ペルー、アルゼンチン、波照間島、与那国島などの自然の写真を大型パネルやタペストリーで展示した。 [出品点数 130点]	
	心地いい庭ガーデンデザイン展 vol.4	ひたちなか市の環境デザイナー・吉川和雄氏の展覧会。これまでデザインした建造物や庭、生活空間を写真パネルや建築模型・映像にて展示した。 [出品点数 83点]	

### 3 第23回 国民文化祭・いばらき2008 美術展（写真・デザイン）

- 会期 平成20年11月1日(土)～11月9日(日)
- 主催 文化庁／茨城県／茨城県教育委員会／第23回国民文化祭茨城県実行委員会
- ポスター B2
- チラシ A4
- 入館者数 3,670人
- 観覧料 無料
- 出品点数 写真 289点  
デザイン 69点  
合計 358点
- 関連事業
  - ギャラリートーク 講師 写真 田沼武能氏(写真家)  
デザイン U.Gサトー氏(グラフィックデザイナー)  
平成20年11月1日  
203人
  - 講演会 「先端技術をいかに芸術に応用するか？」  
講師 中野圭氏(東京芸術大学芸術情報センター非常勤講師)  
平成20年11月8日  
30人
  - ワークショップ 「私の紹介したいつくば」  
講師 つくば美術館職員  
平成20年10月25日  
つくば市立吾妻小学校児童 26人  
※作品は国民文化祭期間中美術館2階講座室前に展示



美術展目録



イベントチラシ